

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 23 年 4 月 28 日 (2011.4.28)

【公開番号】特開 2009-244107 (P2009-244107A)
 【公開日】平成 21 年 10 月 22 日 (2009.10.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-042
 【出願番号】特願 2008-91028 (P2008-91028)
 【国際特許分類】

G 0 4 B 19/06 (2006.01)

【F I】

G 0 4 B 19/06 S

G 0 4 B 19/06 B

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 3 月 10 日 (2011.3.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

機器類の視認側に設けられる表示板であって、
 少なくとも 2 つの光透過性を有する透光性基板と、
 前記透光性基板のうち、少なくとも 1 つの透光性基板の少なくとも一面に形成される光透過性着色層と、

前記透光性基板同士の間を所定の距離だけ乖離させる乖離層とが積層して形成されることを特徴とする表示板。

【請求項 2】

前記乖離層が、前記複数の透光性基板を接着させるための接着層であることを特徴とする請求項 1に記載の表示板。

【請求項 3】

前記接着層が、少なくとも前記透光性基板の外周部に対応する部分のみに形成されることを特徴とする請求項 1 または 2に記載の表示板。

【請求項 4】

前記乖離層が、空気から成る空気層であることを特徴とする請求項 1 から 3のいずれかに記載の表示板。

【請求項 5】

前記光透過性着色層が、光透過性着色層を多層に積層して形成されることを特徴とする請求項 1 から 4のいずれかに記載の表示板。

【請求項 6】

前記透光性基板の少なくとも一面に凹凸模様が形成されていることを特徴とする請求項 1 から 5のいずれかに記載の表示板。